

岡村中部NEWS

—令和4年1月号 (第92号)—

発行日：令和3年12月26日

自治会からの年末年始の御挨拶



去りゆく令和3(2021)年は、干支で言う「辛丑(かのと・うし)」と言われる年で、「痛みを伴う幕引きがあり、大きな希望が芽生える年」というイメージの年でした。

迎える令和4(2022)年は、「壬寅(みずのえ・とら)」の年であり、「芽吹きが始まり、生命力が溢れ、華々しく生まれる年」というイメージだそうです。また、「五黄の寅年」でもあるようです。

旧年は、大変な年でありました。新年が、皆様におかれまして希望溢れる年となりますよう、まずもって心よりお祈り申し上げます。

前回の年末年始の御挨拶において、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に振り回された一年でした。」と申し上げましたが、今回も、同じ言葉を申し上げなければならない状況にあります。しかも、年を越えても、ウイルスの様々な変異が生まれた結果、世界各国においても再び感染の増加の声が聞こえてきます。我が国においても、海外に比べれば少ない感染者数ですが、2～3月に第6波の感染者増を予測する見方もあり、医療関係者から始まった第3回目のワクチン接種を期待する方も多いと思われます。

私たちの岡村地区においても、1月の磯子七福神めぐり【集合・団体行動無しで実施】、2月の岡村梅林梅まつり【中止】、3月の防災スマイリングフェア【中止】、当自治会においても、3月の中部桜まつり【中止】と、軒並み行事を中止せざるを得ませんでした。

4月にはいると、組織運営に関する様々な大会等が始まり、4月当自治会総会【参加者数制限で実施】、5月にはいると、地区連合町内会総

[illegible]